

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0790400535		
法人名	社会福祉法人 仁愛会		
事業所名	仁愛グループホーム (メープル)		
所在地	福島県いわき市平中平窪字扇田28		
自己評価作成日	平成26年6月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉ネットワーク
所在地	〒970-8232 福島県いわき市錦町大島2番地
訪問調査日	平成26年8月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外観は西欧風の建物が特徴で、清潔感があり異国情緒溢れる雰囲気です。一人ひとりの生活を知り、環境を整え、散歩などの外出活動も積極的に行っています。共同生活住居以外にも多目的ホール(体育館)を完備しており、音楽療法やフラダンスの慰問、地元の中学校の福祉体験学習など地域交流の場となっております。また、今年度の事業目標「生きがいのある生活」について、ひとり一人の要望が実現できるよう日々サービス向上に取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者は、職員の資質向上、資格取得を積極的に支援し、働きやすいよう人材育成に努めている。
管理者と職員は、地域密着型サービスの意義を理解し、一人ひとりが理念を振り下げた目標を掲げ、利用者の心の思いをくみ取り、日々のケアに取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を深める研修を開催し、どのようなサービスを提供するべきかを話し合い、全職員で理念構築を行いました。掲示板や職員が一番、目に入る場所へ貼り、常に理念を念頭に置きながら支援しています。	職員一人ひとりが理念を掘り下げ、朝礼時に目標を掲げ、日々のケアに取り組んでいる。ミーティングで、ケアに反映されているか話し合い、確認し共有しながら、実践につなげている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月グループホーム通信を発行しており、ボランティアの募集など掲載し、配布しております。季節には近所の方から鈴虫を届けて頂き飼育しています。また、地元中学校からの体験学習の受け入れや市民総ぐるみ清掃、地域のお祭りへ参加するなど積極的に地域交流に取り組んでいます。	グループホーム通信を、地域の公民館や法人内事業所に配布している。隣組に加入し、回覧板を届けながら、会話をしたり、近所の日常の買い物をするなどして、地域の人達と交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居の申し込みや見学者に対し、認知症に関する悩みや対応方法、必要性に応じ介護保険の利用方法などを説明しています。また、管理者はキャラバンメイトに登録しており、地域の認知症の理解や支援に努めています。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	メンバー構成も充実しており、施設内での取り組みを報告し、活発な意見交換ができています。災害や地域の取り組み、行事予定等について話し合い、サービス向上に役立っています。	運営推進会議では、グループホームの役割を始め、地域の見回り隊や、現在取り組んでいる事について、話し合われている。認知症についての講習会を開催して欲しいとの要望があり、実現に向けて、取り組んでいる。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営上での不明な点があればその都度、長寿介護課に助言などを頂き、情報交換を図っております。また、介護相談員派遣事業の受け入れや包括支援センター職員も運営推進会議に参加頂いております。	市から、緊急雇用創出事業制度の研修場所としての受け入れを依頼されるなど、日頃から緊密に連携を図っている。災害などについては、市から情報を提供してもらい、安全を確保する等、協力関係が築かれている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止への知識を深める為、内部研修や身体拘束廃止マニュアルの整備を行い、正しく理解し安易な身体拘束は行わないケアに取り組んでいます。	入居時に、家族と身体拘束をしないケアについて、話し合っている。外に出たがる人に対しては、様子を察知し、見守りに対応している。言葉の拘束についても、利用者の気持ちを傷つけないように、職員が共通意識を持って、ケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待廃止への知識を深める為、内部研修や虐待防止対応マニュアルの整備を行うなど防止対策に取り組んでいます。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	積極的に外部研修への参加を行っており、全職員に対して周知を図っています。また、家族との話し合いの中で必要に応じ行政と連携を図り、対応しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書に沿って、変更点や改定等について解説し理解を頂くよう努力しています。又、不安や疑問があるかを尋ねながら説明を行い理解・納得を図っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	第三者委員の設置や内部研修、外部研修参加、法人内苦情解決委員会開催をするなどし、常に利用者や家族からの意見や要望を反映させられる取り組みを実践しています。	面会時に、積極的に利用者の様子や、暮らしぶりを話すなど、雰囲気作りをし、意見や要望を言ってもらえるようにしている。居室の入口に、担当職員の名前と写真を貼り、家族の方に、安心して何でも話してもらえるよう工夫している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全職員が集まる定例会議や全体朝礼などで、現在問題となっている事柄について、話し合う機会を設けています。また、管理者が半年ごとに個別面接を行い、意見や提案を聴く機会を設け、反映させるよう努めています。	管理者は、職員が個人年間目標を立て、自己評価した内容について話し合い、運営に反映させるようにしている。ケアの時間を、効率良く使えるよう、朝礼の時間を活用し、意見や提案を聞くようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は衛生推進者として職員の労働環境整備や、腰痛防止対策等を行います。また、法人として人事考課システムによる、職員個々の目標設定及び業務管理などにより評価を行い、意欲向上に繋がるよう努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に専門分野に関する外部研修に参加し、その後、伝達研修を行うことにより、全職員が一定の知識習得できる工夫を行っております。年間計画に沿って様々な内部研修も実施しています。結果、今年度は介護福祉士国家試験に4名、合格しました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内介護保険事業所の管理者が集まる管理者会議や、法人内事業所との合同研修の開催、外部研修への参加などを通じ、情報交換の場を増やしサービスの質を向上させる取り組みを行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	申し込みや相談を受けたあと、ご本人への実調を行い、生活状態・身体状況の把握を行い、気持ちや要望を受け止めるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接等の際に、プライバシーに配慮した環境のもと、ご家族の不安や困り事について傾聴に努め、状況把握や事業所のサービス内容の説明等を行い、不安の軽減に努めるように配慮しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネの情報提供や家族の思いや考えを把握し、必要に応じて介護保険サービスの説明や法人内サービス事業所を紹介するなど、必要なサービス提供ができる支援を心掛けています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は作業優先ではなく入居者と共にできることを常に探し、考え、毎日を送ることで関係構築を築きます。また、コミュニケーションが困難な場合においても、利用者様からのアクションを受け止め共感し理解する事に努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月仁愛グループホーム通信によりイベント報告や予定をお知らせし、できるだけ参加頂けるよう発信しています。担当職員も、イベントや活動を写真撮影しコメントを記載し、ご家族へ郵送、報告しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個人が携帯電話を使用できるよう支援し、家族や友人と連絡が取れています。事業所に電話連絡が入った際も本人へお繋ぎしています。	家族の要望があり、事業所の多目的ホールで、利用者の米寿のお祝いを、親戚、友人を招き行うなど、馴染みの関係が継続できるよう、支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ケース記録により利用者様を深く知り、共同生活を支援し、個別や集団的な活動等を実施しています。また毎日の配席にも気を配り、関係作りに努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所や病院を退院後、解約になったケースであっても、希望に応じて再入所の支援を行う。また、介護保険サービス利用の相談や他事業所への紹介等も行います。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の訴えを傾聴し、家族の意向も含め、現実可能な限り実現することを念頭に置き取り組みを行っております。リスクマネジメント等について全職種で話し合い、日常生活に盛り込んだ活動を実践しています。	昔の話や、懐かしい写真を見るなど、利用者の表情や仕草から、思いの意向をくみ取るようにしている。月まどめのケース記録を、全職員が話し合い、共有し、一人ひとりに合わせた対応をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者担当が中心となり、常に本人の要望やこれまでの生活について話し合っています。ご家族等の話も含め「活きがいのある生活」が提供できるように利用者様一人ひとりがどのような環境で生活されてきたかを知るように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	電子化により、入居時から現在の状態、バイタルや家族情報を随時確認できます。その他、毎日のケース記録を充実させることにより、アセスメントや申し送り、定期的なカンファレンスの中で日々の暮らし方などを検討するなど努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	問題点を抽出するため、定期的又は随時のカンファレンスを開催します。その際にはモニタリング票の記入やケアチェックするなど、全職種で課題抽出し、意見やアイデアを出し合い検討しています。	面会時に、本人、家族と話し合い、利用者主体の暮らしを反映した介護計画を、作成している。ユニット会議で、利用者の身体状態の変化について話し合い、見直しをしている。県外の家族の方には、郵送し、確認してもらっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	パソコン入力が随時できる環境を整えており、ケース記録やデータを適時、入力又は確認をしています。また、担当制を設け、個々の把握に努め、カンファレンス等に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	集団アクティビティは勿論、ご家族や本人の要望により、買い物やショッピング、グルメツアー、散歩など外出活動を実施しております。職員は常に今、何が必要かを考えいつでも実践できる柔軟な考えをもち、実践しています。		

自己	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議にて地域の情報の交換、収集を行い、ひとり一人の能力や要望を考慮した活動を取り入れています。ヤクルトの訪問販売や地域のお店へ買い物や外食をするなど実施しています。実際にお店で買い物し、お金の支払いを行うことなどによる生活リハビリを実践しています。	
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の要望により、かかりつけ医を決め、定期的な往診又は、必要に応じて協力医療機関と連携を図り、適切な医療を支援しています。また、必要に応じては歯科受診なども対応します。	受診や通院は、家族が同行して行っているが、行けないときは、職員が代行している。年一回の市の健康診断へは、職員が同行し、受診結果は家族と共有し、確認している。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に利用者様の健康状態を把握するため、所定の書式に記載することにより把握に努めています。毎朝のバイタル測定、排尿排便チェック等の観察を行い、必要に応じて協力医療機関、法人内事業所と連携を図り、往診や受診を支援しています。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の面会や、退院後の生活について話し合い、入院期間中のグループホームの契約内容の再確認も行います。病院関係者との面談には、契約内容に関する理解を求め、退院に向けた話し合いなどを行います。	
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	あらかじめ入居前契約の際に、グループホームにおいてできることの説明や看取り介護指針について説明します。必要な状態に応じて法人内事業所、協力医療機関と連携を図り、状況に伴ったサービス展開することを説明のうえ、同意いただく支援をしています。	入居時に、本人、家族の意向を踏まえ、状況に応じた出来る範囲のケアについて十分に説明し、同意を得ている。協力医療機関、職員が連携しながら早めの対応をし、安心して納得した最期を迎えられるように支援に取り組んでいる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	リスクマネジメント係を中心として、「事故予防研修」「緊急シミュレーション」等の急変や事故対応に備えた研修を実施しています。介護員は「ひやり・はっと報告書」、「事故報告書」の内容を精査し研修に活用しています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間を想定した総合防災訓練を年2回、避難誘導シミュレーションを年2回、避難誘導訓練を年2回、年間6回の訓練を実施。全職員への意識向上を図り、身につける訓練を繰り返し行っています。また、火災以外の災害マニュアルを作成し、運営推進会議にて報告、協力についても話し合いを行っています。	消防署の協力を経て、消化器の使い方などの訓練を行なっている。目標時間を設定して、避難が短時間でできるように訓練を行なっている。内部研修を行なって職員の意識を高めている。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に利用者様の尊厳を守り、言葉遣い、態度に気を付けています。声を掛ける際には利用者様と同じ目線に合わせるように心掛けております。また、トイレ誘導時には他の利用者様に分からないように本人の傍に行き声を掛けたり、失禁時には本人が傷つかないような声掛けをしております。	援助が必要な時は、本人の気持ちを大切に考え、言葉掛けなども工夫して、さり気ないケアをし、対応している。一人ひとりの人格を尊重しながら、本人が自己決定し易い言葉かけをし、プライバシーを損ねないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望には可能な限り対応しています。利用者様の声に耳を傾け、希望が実現出来る様に努めております。また、選択肢を簡単に出来るだけ自己決定しやすい声掛けを心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	アクティビティや入浴等のスケジュールはありますが、利用者様の希望や体調に合わせて柔軟に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員が季節に合った衣類を準備し、利用者様に好きな服を着て頂ける様に支援しています。重ね着等をされている時には利用者様の気持ちを傷つけないような対応し着替えをして頂くようにしております。定期的に髭剃り、爪切りをしています。散髪は訪問理容を利用しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と職員が同じテーブルで、会話をしながら楽しい食事をしております。出来るだけ利用者様と一緒に、片付けや食事の準備も行っております。	食事への関心が高まるように、その日のメニューをホールに掲示している。食べやすさに配慮したり、家庭菜園で採れた野菜を、一品加えるなど、楽しい食事をしてもらえるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の管理の下で、献立を作成しています。食事量や水分摂取量はチェックシートにより把握し、栄養や水分が不足しない様にしています。食欲不振時にはゼリー等や食べやすい物を召し上げて頂いております。またご家族様より、好きな物を差し入れて頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お茶うがい及び毎食後の口腔ケアを実施しております。一人一人の状態やペースに合わせて支援しています。また、義歯の方には毎日ボリデント洗浄を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、誘導の声掛けをしています。体調等を考慮してポータブルトイレを使用し排泄出来る様に支援しています。	一人ひとり利用者の表情や様子を見ながら、声かけを工夫し、トイレで排泄できるよう誘導している。失敗した時は、さりげなく声かけし、周囲に気づかれないよう配慮しながら支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防の為、利用者様一人一人に合わせヤクルトや牛乳の提供を行っております。また、散歩や体操などの運動を行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一般浴(月、水、金)・機械浴(火、木、土)と決まっておりますが、利用者様の体調不良時や利用者様の希望により入浴を変更する場合があります。季節によって、ゆず湯やみかん風呂を行っております。	一人ひとりのこれまでの生活習慣等を、職員が話し合い工夫し、個別に合った入浴が出来るよう支援している。利用者の体調が優れない場合は、その都度対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝、起床時間は個々利用者様の体調やペースに合わせています。また、利用者様の体調などにより居室で休んで頂いています。安眠して頂ける様に湿度や温度等、環境に配慮しています。騒音等にも気を付けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をファイルに綴りいつでも内容が確認出来る様にしております。服薬介助の際はマニュアルに沿って誤薬がない様に確実にしております。定期薬以外を服用後は症状の変化を確認しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様一人一人の能力に合わせて家事活動や園芸等を行い、役割を持って頂いております。また散歩や買い物、外食等を利用者様の要望に応じて行い、楽しみや喜びを感じて頂ける様に対応しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別アクティビティとして、散歩や希望に沿った季節の行事等により利用者様との外出を行っております。また、歯科受診の付き添い等も行ってまいります。ご家族様の協力により、医療機関、買い物などへの外出もされています。	一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせて、お寿司やうなぎ、そば等の外食や外出をしている。季節を感じることでのお花見や、夏井川の白鳥見物、小玉ダム等、季節に合わせて、バスで出掛けしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持が可能な利用者様には、お金を自己管理して頂く様に支援しております。また、ヤクルト販売等では買い物の楽しみや、ご自分で支払って頂く事による、自立支援をしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を使用される要望がある際は、ご家族様に確認し使用して頂ける様支援しております。また、携帯電話の充電の管理は職員が確認し行う様支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは照明、装飾品に気を配り明るい雰囲気作りを心掛けています。温度、湿度にも気を配り過ごしやすい環境作りを行っています。季節に合った飾り付けを利用者様と一緒に楽しみながら行っています。定期的にフロアのレイアウトを変えております。	リビングと多目的ホールがつながっていることで、利用者は自由に行き来でき、運動やリハビリができるような空間となっている。利用者と職員が一緒に作った作品が飾られ、生活感や季節が感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースにソファを置き、気の合う利用者同士が交流出来る場所を作っています。食事などの配席は、利用者様の関係性を考慮して行っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている。 (グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている。 (小規模多機能の場合)宿泊用の部屋について、自宅とのギャップを感じさせない工夫等の取組をしている。	出来るだけ利用者様が使い慣れた家具や布団、枕などを持って来て頂いて今までと変わらず生活して頂ける様にしております。利用者様がくつろぐ事が出来る空間、環境作りを行っています。	居室は掃き出し窓になっており、自由に行き来でき、その人らしく過ごせるよう配慮している。利用者の手作り作品を飾り、自分らしく暮らせるようにしている。衣替えは家族の方や利用者職員と一緒にするなど、整理整頓し安全、安心して暮らせるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室等を分かりやすい表示をしており、利用者様がご自分で利用しやすくしております。また、施設内はバリアフリーになっており車椅子でも走行しやすい環境になっております。ドアは利用者様が安全で自立して使用出来る様にスライド式になっております。		